

V 校内研究

1. 研究主題

<h2>主体的に考え、学びを深める生徒の育成</h2>

2. 研究主題及び副題の設定理由

(1) 本校の研究の歩み

〈 取組 〉

〈 成果・課題 〉

1. 学びのイメージマップの活用

- ・ 教員が学びの視点をプレートで提示し、生徒にも学びの視点を持たせる
- ・ 生徒が目標を立て、学期ごとに振り返る

2. 布水式授業スタイル

- ・ 必要感のある課題設定
- ・ 学びを広げ深めるための手立ての工夫

3. 生徒が自分の言葉でまとめを書く

- ・ まとめを書けない生徒への個に応じた指導

4. 1分間ライティングの実施

- ・ 各学年に適した取り組み方で行う

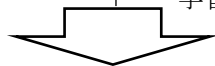
5. 教科部会を中心とした授業改善

- ・ 実践レポートの作成、相互授業参観など

6. ICTの効果的な活用

- ・ 授業の他、家庭学習としてドリルパークに取り組ませる

- ・ 学びの可視化という目的は共有されたが、教科の特性や単元の内容によってはマップの枠組みが適合しにくい場面があった。
- ・ 振り返りを行ったことで自分の成長を可視化することができ、自己理解に繋がった。
- ・ 「学びを楽しむことができた」生徒が9割と高い水準を維持している。生徒にとって必要感のある課題設定が、学びへの意欲を支え続けた成果である。
- ・ 約9割の生徒がまとめを自分の言葉で書けるようになった。書けない生徒へのきめ細やかな指導・支援が必要。
- ・ 授業での学びを言語化することで、自分の弱点を知ることができた。
- ・ 要請訪問では、他教科の個別最適な学びにおける授業実践を知ることができ、授業改善の良い機会となった。
- ・ 週末や長期休暇以外にも、休み時間や自習時間での端末使用の機会は増えた。しかし、日頃から計画的に学習を進めることができる生徒は少ない。



今年度もイメージマップを意識した授業づくりを継続し、生徒が主体的に考え、学びを深めるための手立ての充実を図っていく。これまでの実践により、学びの可視化や言語化には一定の成果が見られた一方で、学びの視点が十分に定着していないことやまとめを書くことに課題を抱える生徒への支援には改善の余地がある。そこで学びの視点を「伝える」から「活用する」指導へと進化させ、思考を整理する活動や表現の型を意図的に取り入れることで、生徒が自ら考えを構築し、自分の言葉で表現できる力を育てたい。また、家庭学習を通して学びの自覚を促し、主体的に学びを深める力も育成していきたい。さらに、「学びを深める」とは何かについての共通理解を図る研修を実施し、目指す生徒の姿や授業の在り方について共通理解を図る。その他に、指導主事を招聘して全体研究会を行ったり、教科部会等で交流したりする中で、指導のさらなる質の向上を図っていく。

(2) 目指す授業像

生徒が多様な考えに触れる中で学びの広がりや深まりを実感し、
自己の学びや変容を自覚できる授業

(3) 教師の重点的な取組

① 布水式授業スタイル

	生徒の学習活動	過程	教師の指導、支援	
1	本時の課題の提示	つかむ	新たな疑問や興味を生徒にもたせる	問題意識
2	課題解決の場面	考える 深める	予想する（仮説を立てる） 学びを広げ、深めるための手立てを工夫する。 生徒がつながりに気付くことで主体的に課題解決に向かわせる。	手立ての工夫
3	本時のまとめ (単元・本時の振り返り)	まとめる	本時の課題に対するまとめを自分の言葉で書かせる。 自らの学びの広がりや深まりを実感させる。	評価

※課題、深める、まとめるのプレートを活用する

② 学びのイメージマップ(生徒が学びを広げた姿のイメージ)の活用

- ・ より良い学習のイメージを生徒・教師間で共有し、授業を行う。
- ・ 教師が学びのイメージマップを意識して、主体的に学びを広げ深めるための手立てに工夫を凝らすことで、課題解決の場面の充実を図る。

③ 授業のまとめを生徒自身の言葉で書く

- ・ 生徒が多様な考えに触れ、主体的に学びを広げ深める活動を行うことで、生徒自身が学んだことや自らの考えの変容、新たな気づきを書けるよう促す。
- ・ まとめを書けない生徒を見逃さず、個に応じたきめ細やかな指導を充実させ、言葉に出せるよう支援し、自己肯定感を育てると共に学力の底上げを図る。

④ 家庭学習や ICT の活用

- ・ 定期的にクロムブックを持ち帰り、計画的に活用することで、生徒が自ら学習課題を選択する機会を設けるなど、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫をする。

⑤ 教科部会の充実

- ・ 定期的に教科部会を設定し、教師間の共通理解を図り、協議や授業の実践交流を交わすことで、授業における悩みや不安を解消し、授業力向上を図る。